



千葉ウエストワイズメンズクラブ 2021年1月 (No.4)

会長 高田一彦
副会長 吉崎 勇
書記 内田久昭
会計 長尾昌男
担当主事 小林和弘

国際会長 Jacob Kristensen (デンマーク) Values, Extension and Leadership
アジア太平洋会長 David Lua (シンガポール) Make a Difference
東日本区理事 板村哲也 (東京武蔵野) 変化をたのしもう！
関東東部部長 柿沼敬喜 (東京グリーン) 学びと親睦を糧に外へ向かおう！
千葉ウエストクラブ 高田会長主題 ワイズ活動を通じて地域への貢献を
*千葉ウエストクラブ連絡先 日本基督教団船橋教会 273-0865 船橋市夏見6-6-6

☎ 047-494-3586

今月の聖句

求めなさい。そうすれば、与えられる。探しなさい。
そうすれば、見つかる。門をたたきなさい。そうすれば、
開かれる。(マタイによる福音書7章7節)

千葉ウエストクラブ1月例会

(IBC/DBCの月)

日時:1月16日(土)午後2-4時

場所:日本基督教団船橋教会 信徒館

司会 内田久昭君・受付 長尾昌男君

開会点鐘 高田一彦会長

ワイズソング・ワイズの信条

聖書朗読 守安久美子さん

ビジター・ゲスト紹介

会長報告

YMCA報告

Happy Birthday 長尾順子さん

卓話「自分紹介」 岡田裕三君

協議

ドライバー 長尾昌男君

閉会のことば 吉崎勇君

閉会点鐘 高田一彦会長

会場係 高田一彦、長尾昌男君

尚、2回目の「緊急事態宣言」発出のため
1月例会は中止とします。

12月のデータ 会員8名
例会出席16名 (会員8名、ビジター6名、
ゲスト2名) (出席率100%)
ドライバー 5,300円 (累計 21,700円)

■12月例会報告 (12月12日船橋教会信徒館)

出席会員:内田、岡田、小林、鈴木、高田、長尾、
守安、吉崎

ビジター:(千葉クラブ)青木(一)、青木(清)、石丸、
倉石、廣田、古屋

ゲスト :小林信人船橋教会牧師、木塚敏夫氏(YOB)

12月12日に千葉クラブとの合同クリスマス例会が、船橋教会信徒館に於いて開催された。廣田光司君司会のもとに、**第一部はクリスマス礼拝**として、古屋朝則君の聖書朗読に続いて、ヒムプレーヤーでの讚美歌を挟みながら小林信人船橋教会牧師より、クリスマスメッセージを頂いた。「クリスマスおめでとうの意味は、私たち人間同士がおめでとうと言う特別の意味で、この世に人間として神の子が生まれたとんでもない出来事で、まさにビックリクリスマスなのである。」との事であった。**第二部**は、石丸隆章千葉クラブ会長の開会点鐘で始まり、ワイズソング、ワイズの信条に続いて、両クラブの会長報告とYMCA報告が廣田光司千葉YMCA総主事より行われた。本日のメインとなる**レクリエーション**は、YMCA OBの木塚敏夫氏の多彩なリードによるゲームで紐付き2ボールを輪投げのように投げる「ラダー ゲットゲーム」や木片での木製キーホルダー作りに夢中になり、両クラブ対抗の「3人同時発生言葉当てゲーム」などが楽しく展開された。その



小林牧師の説教



キーホルダー作り

後外に出て、30分足らずの時間であったが、奉仕活動として、教会堂前の落ち葉の清掃を行った。再び信徒館に戻ってからは、ティータイムの間にドライバーの倉石昇君が回り、参加者の一言があった。最後に鈴木秀信君の閉会の言葉、高田千葉ウエストクラブ会長の閉会点鐘で、合同例会の幕を閉じた。



落ち葉掃き

千葉ウエストクラブメンバーの「2021年度の抱負」を特集しました。

『新年の抱負』

内田久昭



昨年末母が亡くなったことで、老々介護の為、関西に行く必要がなくなったことや依然、新型コロナウイルスの感染拡大に歯止めがきかないことから、今年もステイホームの機会が益々増えます。昨年達成出来なかった「南アルプス登山」に再挑戦のための体力づくりと60歳過ぎて始めたチェロの上達を目指したいと思います。ワイズメンズ活動では、少しでも社会貢献できることを喜びとした活動を提案できるように考えたいと思います。

『意義のある一年に』

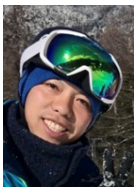
岡田裕三



昨年古希になりましたが、全く何もすることができませんでした。今年こそ2回目の古希として意義のある一年にしたいと思います。特にこの新型コロナウイルスの状況下、船橋で一生懸命暮らしている外国人の支援を中心に組みんでいきたいと思っています。外国人の支援活動を実施している他団体の知恵を借り、出来ることから始めたいと思います。

『明るい2021年に』

小林和弘



2021年は千葉YMCAに来て4年目となります(4月で)。東京YMCAとの勝手の違いに戸惑い、試行錯誤をしながらも3年が経ち、様々な事業の形が見えてきました。ここから更に前に進んで行く為により具体的な目標を持って2021年は行動していきたいです。『民間学童の立ち上げと地域事業の開拓』またプライベートでは、『千葉ロッテマリーンズの応援と優勝』『ソロキャンプから家族キャンプへ』皆様と一緒に明るい2021年にしたいと思います。

『新年に向けて』

鈴木秀信



千葉ウエストワイズメンクラブの新しい年の歩みをお祝いいたします。当クラブ発足に際し、多くの方々のご努力、お力添えの在りましたことを改めて思い、感謝いたします。設立準備のための議論を重ねる中で、「高齢者」への具体的な配慮をどうするかが一つの焦点であったように思います。ワイズメンクラブの基本的な目的と、この課題をどのようにマッチングさせていけばいいのか、ゆっくりと考えていければいいのかなと思っています。

『具体的なクラブ目標の設定』

高田一彦



今年度は、是非とも千葉ウエストクラブの具体的な目標を皆で設定したいと思います。YMCAを通して地域に、世界に貢献していくために、何が出来るかを考えると同時に、クラブの幅を広げるためにも対外的な繋がりを持ち、多くを吸収するとともに、身近な具体策を追求して行きたいと思っています。まずは、YMCAの素晴らしさを再認識すると同時に、YMCAへの積極的な働きかけを行いながら共同プログラムの開発等を目指していきたいと思っています。

『今年の抱負』

長尾昌男



千葉ウエストクラブとしては、新型コロナウイルスの収束後に可能なクラブの活動計画を確認したいと思います。まずは、メンバーで出来ることを確認しクラブ内で実践し、それを教会関係の皆さんに(幼稚園の親御さんへも)声掛けをして徐々に参加者を増やす。<メンバーで出来ること。(身体を動かす・頭を使う・声を出す)> 健康保持体操教室、健康維持脳トレ教室、懐かしい歌教室 等
私個人は、健康に留意して今年出来る活動に参画する。

『今年度の抱負』

守安久美子



コロナが蔓延してから1年近くなります。当時はこんな歴史に残るような事が起きた時代に生きている事がウソのように思っておりましたが、ここまで蔓延するとは思っていませんでした。本当にいつ何が起ころか、会おうかわからない毎日を生きている事を十分に体感した1年でした。今年には主人も定年を迎え、環境も変わりますが、何が起きても変わらない生き方を見つけて行きたいと思っています！

『老化と共に』

吉崎勇



成長とは幼子が一一つ機能を獲得しその能力を高めていく過程と勝手に思っていました。あにはからんや、私も今成長過程の真ただ中にある身、それが老化の過程。能力の衰えや喪失、萎縮。これを体験し痛みを乗り越えてこそ、生命体として生を受けたものの務め。この務めを勤め上げねばならない。そんな自覚に立ちみようかとやせ我慢しながら思っています。